

まほろば2

2 年学年通信 甲斐市立竜王北中学校 2018 年 12 月 21 日 文責 齋藤幸子

2 学期を振り返って

2 学期は、さまざまな行事をとおして「準備」の大切さを学んだ時間だったと思います。また、一方で、運動部の新人大会で本格的に 2 年生主体の試合を経験したところから、3 年生に見守られながら「学校の顔」としての自覚を育てていく時間でもありました。先日の生徒会役員選挙では、立候補者本人はもちろん、学級全員で選挙活動をするを通じ、一人ひとりが「自分事」として生徒会活動を意識することができたように感じています。

1 日に授業参観として実施した進路学習では、高校入試の概要を知り、自分の生き方について考え始めるきっかけを持ちました。漠然としていた自分の未来を、はっきりした形にしていく段階に入ったのです。「まだ考えたくない」と言って逃げていないで、自分で考えることからあなたの未来は始まります。

そして、これまで「好き嫌い」で行動してきた人も、自分にとって「損か得か」を考えるようになり、さらに「よりよい生き方」を求めて行動できる人へと成長して行ってほしいと願っています。

「NGワード」について考える

20 日の学年集会では、今学期の振り返りと「TRY PROJECT REAL」についての反省が行われました。その中で学年生徒会本部から、プロジェクトで新たに取り組んだ「NGワード（悪口や汚い言葉、人を傷つける言葉）」がなくならないという問題提起がありました。それに対して多くの意見がああ場場で出されたことは非常に素晴らしいことだと思います。ここでその意見を振り返ってみます。みなさんにとって何が問題なのか、何が必要なのかをもう一度考えてみてください。

「売り言葉に反応しないようにすれば、NGワードは少なくなる。」（立花さん）

「NGワードの範囲を決めた方がなくしやすい。」（猪股さん）

「NGワードの範囲を決めても、それ以外のことを言う人が出る。」（青山さん）

「なかなかなくなるので、NGワードの範囲を決めることは必要。」（山田さん）

「限定するのは難しい。自分が言われたくないと考えれば良い。」（志村さん）

「範囲を決めてもそれ以外のことを言ってしまう人はいるので、決める意義は薄い。」（藤田さん）

「NGワードは本音なので、なくそうと思っても完璧にはなくならないのでは。」（築野さん）

（班会議を経て 上記以外の意見として）

「人それぞれ感じるNGワードは違う」（1 組 5 班 河野さん）

「相手に伝える前に自分で考えることが大切。」（1 組 6 班 足達さん）

「NGワードを言わなくてよいような雰囲気作りが大切。」（2 組 3 班 小林さん）

「自分の気持ちをコントロールすることが大切。」（2 組 5 班 日向さん）

「自分の心の中にある気持ちを安易に口に出して言わないようにしたい。」（2 組 6 班 岩出さん）

「悪口は人を傷つけるので、言う人は覚悟が必要。」（3 組 2 班 立花さん）

「人によって感じ方は違うので、嫌な言葉には嫌だと伝えることが大事。」（3 組 4 班 坂本さん）



*冬休み学習会を行います

12/26日 27日 28日
13:30~15:00
場所 2年2組教室

2学期末福祉委員会空き缶回収協力 ありがとう

大谷哉太さん	窪田脩哉さん	築野 吏さん	原琉偉斗さん	町山晴人さん	大瀧ななさん
風間香澄さん	菊地音遥さん	林 愛莉さん	平林奈桜さん	保坂菜生さん	若月彩音さん
浅川翔哉さん	興石竜成さん	小林健士朗さん	雨宮愛唯さん	白木遥奈さん	三澤海空さん
石丸 賛さん	金丸琢磨さん	末木秀和さん	中山隼輔さん	渡邊日陽さん	齊藤葉月さん
佐野碧衣さん	由井杏奈さん				

1月（睦月）の予定						
月	火	水	木	金	土	日
	1 元日 年始休業	2 年始休業	3 年始休業	4	5 バドミントン 1, 2年生大会	6 バドミントン 1, 2生大会
7	8 3学期始業式 身体測定	9 給食開始 学年レク 100問テスト 部活動なし	10	11	12 バスケット 1年生大会	13 バスケット 1年生大会
14 成人の日 吹奏楽音楽祭	15 月曜授業	16 部活動なし	17 火曜授業	18 きずなの日 委員会活動日 漢検	19	20
21	22	23 部活動なし	24	25	26 バスケ交流大会 テニス育成大会	27 バスケ交流大会
28 きずなの日	29	30 ⑤清掃カット 部活動なし	31 公立前期入試 (~2/1)	2月の予定 8日 新入生保護者説明会 28日~1日 期末テスト		